

開星中学校・高等学校100周年記念事業コンサート

Special Concert

開星音楽部の礎を創った、パイオニアたちの共演！



テノール/岡田 直樹

ピアノ/伊藤 翔

2024年11月30日(土) 18:10開場/18:30開演
松江市民活動センター・交流ホール (スティックビル4F)
入場料: 一般2,000円/高校生以下500円

<曲目>

シューマン	献呈
シュミット	バルカローレ(舟歌)
ララ	グラナダ
プッチーニ	オペラ「トゥーランドット」より“誰も寝てはならぬ” 他

ゲスト/ 開星中学校・高等学校アカペラ部(ハモネプハイスクール全国大会優勝)

主催/OMP 後援/学校法人大多和学園 開星中学校・高等学校

協賛/李白酒造有限公司/株式会社フレーム

<公演お問い合わせ> 080-3304-2512(OMP・岡田)

<チケットお問い合わせ> 学校法人大多和学園 開星中学校・高等学校

電話 (0852)21-4915 FAX (0852)21-9118

E-mail: kaisei@kaisei.matsue.shimane.jp

演奏会開催にあたって

今回、開星中学・高等学校100周年をOBとしてお祝いを兼ねて、演奏させていただきます。

開星中学・高等学校という学舎はどうしても野球部などスポーツの印象が強いのですが、実は文化部にも私たちのようなプロが居ますよ!!という事は意外と知られていないところでもあります。

岡田が高等部に入学した1994年に開星中学・高等学校に改名され、翌年に伊藤が開星中等部に入学しました。

その当時「文武両道」が校訓でしたが、当時の特進コースでは「**文**武両道の間違いだよね」と言われていました。勉学面も進学校に名乗りを上げたばかりで、本当にその小さな「文」を少しでも大きくすることに先生や生徒が一生懸命でした。そんな中で、私たち2人は音楽を通して「文」の文字を大きくしたパイオニアとして、今回の演奏会を行う事になりました。

ゲストに開星中学・高等学校アカペラ部が出演します。ライトな音楽は若い彼らに託し、私たちは純粋にこれまで培ってきたクラシック音楽を演奏することで、地元の皆様が開星という学舎が育んだ「文」を観ていただきたいと思っています。

1時間少々ですが、学校関係者の方だけでなく、地元の方に足を運んでいただけたら幸いです。

テノール 岡田 直樹



東京藝術大学声楽科卒業。イタリア・ミラノに2度留学し、声楽をOttavio Garaventa、Giuliano Ciannella、スコアリーディングをD.マッツオーラの各氏に師事。ミラノ市立音楽院在籍時に、音楽院の代表としてイタリア音楽院選抜コンサートに出演。2005年にベルガモで行われた、オペラ「椿姫」アルフレード役でイタリアデビューも、その後、体調不良の為帰国。帰国後、一般職を経て、音楽・イベントプロデューサーに転身し、JTBとのコラボで日本で流行したフラッシュモブを流行らせた事でプロデューサーとしての地位を確立。2008年にTBSの元・音楽プロデューサーからの強い勧めで歌手業に復帰。クラシック以外のあらゆるジャンルの音楽をプロデュースし、多くの芸能タレントのレッスン、収録に立ち合い、自らもラジオ番組出演なども行う。2011年-2013年に横浜市長の特命で横浜開港祭ザプラスクルーズ第九プロジェクトをプロデュースし、その後、プロジェクトを独立させ、クラシック界でも有名な夏祭クラシックスを主宰する。2019年に喜歌劇「神様∞人間」を脚本・作曲。2024年OMPメサイアにて指揮者デビュー。Classic Innovate代表（夏祭クラシックス）、横浜ベイコール、男声合唱団An die Musik、大田区立久原小学校PTA音楽部指導者。

ピアノ 伊藤 翔



桐朋学園大学指揮科卒業。ローム音楽財団の奨学金を得てウィーン国立音楽大学へ留学。ピアノを藤井一興、A. サヴォア、J. デームスに、指揮を秋山和慶、小澤征爾、黒岩英臣、E. アチェル、湯浅勇治、K. マズアの各氏に師事。第1回日本演奏家コンクール最高位。第16回JPTAピアノ・オーディション入賞。第5回ルトスワフスキ国際指揮者コンクール第2位、第1回ロータ国際指揮者コンクール第1位及びオーケストラ賞を受賞。第26回エネルギー音楽賞受賞。国内の数多くのオーケストラに客演する他、海外ではジェシヨフ・フィルハーモニー管弦楽団やアブルツェ交響楽団への客演が好評を博す。東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団指揮研究員、神奈川フィルハーモニー管弦楽団副指揮者、東京混声合唱団コンダクター・イン・レジデンスを歴任。また合唱指揮者として2017、2018年NHK交響楽団の公演を成功に導いた。2023年4月より東邦音楽大学非常勤講師。